

第34回数学史シンポジウム

標記の研究集会を下記の要領で開催しますので、ご案内申し上げます。

主催 津田塾大学 数学・計算機科学研究所

世話人 佐藤文広（立教大学、津田塾大学 数学・計算機科学研究所）

中屋敷厚（津田塾大学 数学科）

日程：2024年10月12日（土）、13日（日）

場所：津田塾大学5号館（AVセンター棟）5101教室 + オンライン（Zoom）

プログラム

10月12日（土）午前

9:20 - 9:25 はじめに

9:30 - 10:10 三浦伸夫
アイザック・バロウとユークリッド『原論』

10:20 - 11:00 田中紀子、松原望
Pattern Theory の視点でみた現実現象

11:10 - 11:50 前田博信
判別式が負の整数係数2元2次形式のつくる双曲三角形について

10月12日（土）午後

13:50 - 14:50 梅田亨（特別講演）
ガロアの「群」とは何を指すのか

15:00 - 15:40 高崎金久
交錯定理とその周辺

16:00 - 16:40 河野 敬雄
林鶴一が漱石の『坊っちゃん』に登場する「山嵐」のモデルである可能性について

16:50 - 17:30 但馬亨
17世紀初の変分問題～Fermatの光学研究を例として～

10月13日(日) 午前

- 9:30 - 10:30 有賀暢迪 (特別講演)
ライプニッツの「動力学」からオイラーの「力学」へ
- 10:40 - 11:20 長田直樹
逆接線問題と微分方程式
- 11:30 - 12:10 足立恒雄
クンマーの理想数論とは何だったか

10月13日(日) 午後

- 13:30 - 14:10 田村 誠
北京大学蔵秦簡牘中の算術書について
- 14:20 - 15:00 宮田 義美
古代中国の度量衡と算術